

週間漁海況情報—第34号

平成25年9月2日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

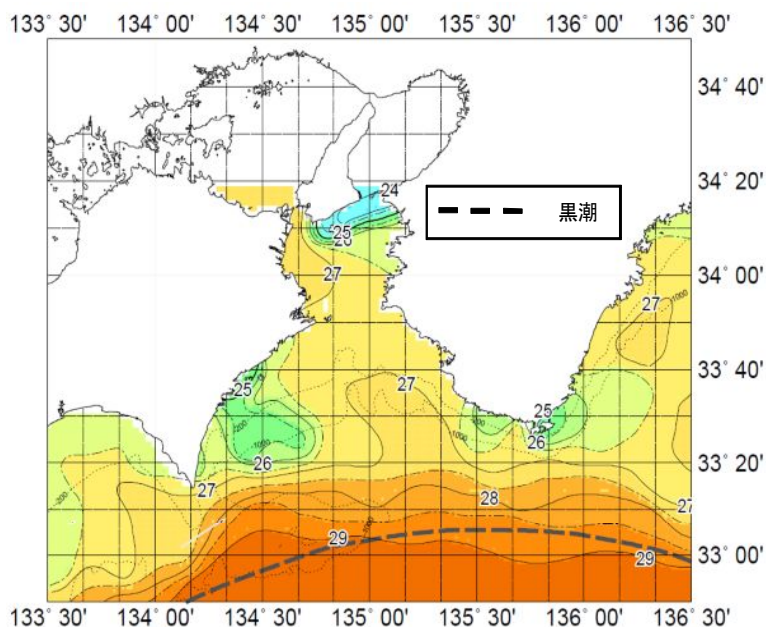
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25.9.2）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

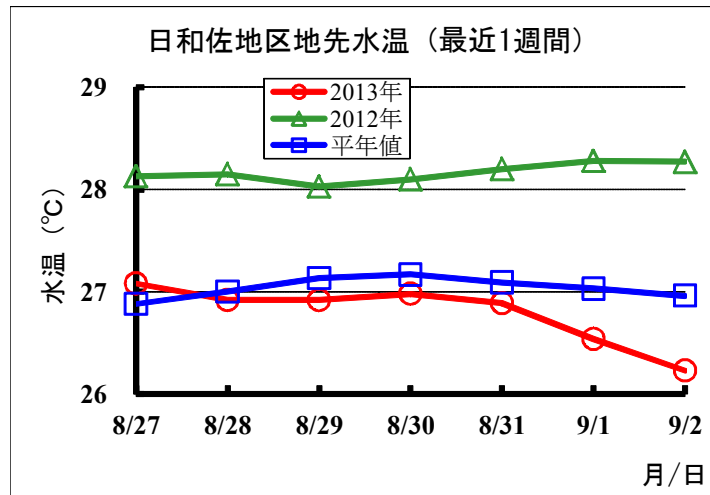
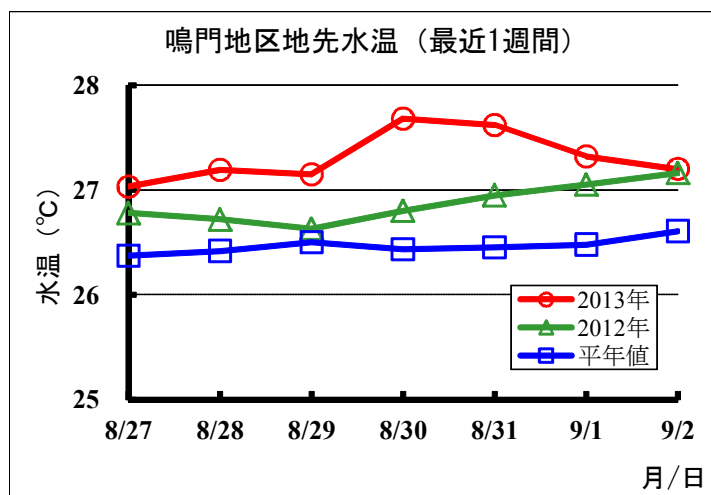
黒潮本流の表面水温は、29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で27℃台、紀伊水道及び海部沿岸で24～27℃台である。紀伊水道外域では、徳島県側の牟岐町～海陽町沿岸から水深1000m沖付近にかけて、25℃台と降温している。



漁業調査船「とくしま」で8月29日に行った海部沖合海区の海洋観測では、表層が「やや低め」の26.9℃、10～20m層が「低め」の24.3～25.2℃、30～50m層が「かなり低め」の19.3～22.6℃、100m層が「やや低め」の16.8℃であった。

海部沖合観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
8/29	今年値	26.9	25.2	24.3	22.6	19.3	16.1	33.6	33.8	33.9	34.2	34.6	34.6
	平年偏差	-0.8	-2.0	-2.1	-2.7	-3.6	-2.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.0
	前年偏差	-1.8	-3.3	-4.0	-5.2	-6.3	-3.0	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	0.0



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の27.0～27.7℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並」の26.2～27.1℃、牟岐地区は「かなり低め」～「やや低め」の23.3～26.2℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、小小主体にアカムツが0.7トン（1日1隻あたり14kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.7トン（同22kg）、ウルメイワシが1.4トン（同131kg）、カンパチが0.2トン（同10kg）、マルソウダが0.5トン（同15kg）、カマス類が1.2トン（同22kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、イサキが0.3トン（同9kg）、特大主体にキハダマグロが0.4トン（同41kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが7.8トン（同125kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月26日～9月1日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	47	654	14	小小主体
小型定置網		マアジ	33	717	22	小主体
		ウルメイワシ	11	1,444	131	
		カンパチ	24	241	10	
		マルソウダ	32	471	15	
		カマス類	55	1,192	22	
釣り		イサキ	34	316	9	
		キハダマグロ	9	373	41	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	62	7,750	125	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の8月27日～9月2日には、海部沿岸では、延縄で、中主体にアカムツが0.2トン、小型定置網で、小主体にマアジが1.0トン、小主体にサバ類が0.4トン、マイワシが0.2トン、ウルメイワシが1.1トン、マルソウダが0.5トン、カマス類が0.2トン、紀伊水道では、パッチ網で、シラスが34.9トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の26～27℃台、日和佐地先で「低め」～「平年並」の25～27℃台で推移する見込み。